

日本科学未来館研究施設
募集要項
(平成 25 年度版)

平成 25 年 11 月



1. 本事業の概要について

日本科学未来館研究施設は、独立行政法人科学技術振興機構（以下、「機構」という）日本科学未来館（以下、「未来館」という）に併設する研究施設です。

本事業の目的は、以下の通りです。

- ・ 先端の科学技術研究を一層推進し成果を創出するための研究環境を提供すること。
- ・ 研究者自らが研究意義、内容、成果を来館者に対して分かりやすく紹介するとともに、来館者の疑問や期待に応える対話活動を行うことで、広く国民へ研究のアウトリーチ活動（未来館における科学コミュニケーション活動）を実施すること。

本事業に応募頂く方には、上記目的のもと、下記条件も併せてご理解の上、お申し込み頂きますようお願い致します。

2. 募集する居室等について

(1) 日本科学未来館 研究施設

名称：日本科学未来館 研究施設

所在地：東京都江東区青海2丁目3番6号

対象居室：全8室

4階 410、411、412

5階 503-507

(2) 仕様

大きさ：各室約60㎡

※複数室の利用が可能。

※各室は、一定スパンでの壁面の設置・撤去が可能のため、希望により各室の広さを調整可能。

付帯設備：オフィス仕様（空間の提供、デスク・チェアなし、空調あり）

使用環境：必要な設備・備品等は研究プロジェクトにてご用意下さい。

電気：壁に電源あり。電源の引き回しは研究プロジェクトにて整備。

水道（給排水）：あり。配管の引き回しは研究プロジェクトにて整備。

ガス：あり。ガス管の引き回しは研究プロジェクトにて整備。

電話回線：なし。研究プロジェクトにて整備。

通信環境：なし。ネットワーク回線（有線）を研究プロジェクトにて整備。

実験排水槽：なし。実験排水処理は研究プロジェクトにて業者手配。

施設使用条件：

床面耐荷重：500 kg/㎡（静荷重）（フリーアクセス）

安全レベル：P2レベル。ただし研究プロジェクトで適切な施設変更をし、安全面に十分配慮すること。

強磁気：扱えない。

放射線利用：扱えない。

重金属の使用：扱うことは可能だが、保管・管理を徹底すること。

動物実験：扱えない。

共用施設：打合せ（ゼミ）スペース、自販機、展示エリアフードショップ

(3) 研究施設の使用に要する経費

- ・ スペース賃料：無料

- ・ 壁の設置・撤去費用：研究プロジェクト負担
- ・ 研究機器、備品等の購入、搬出入：研究プロジェクト負担
- ・ 公共料金（電気、水道、ガス、給湯）：実費相当額を研究プロジェクト負担
- ・ 電話・通信費：研究プロジェクト負担
- ・ 空調料金：使用面積に応じた金額を研究プロジェクト負担
- ・ 廃液処理費：研究プロジェクト負担
- ・ 研究プロジェクト終了時の原状復帰代：研究プロジェクト負担※
- ・ 研究プロジェクト終了時の産廃処理費：研究プロジェクト負担
- ・ 科学コミュニケーション活動実施費用：研究プロジェクト負担

※原状復帰とは、研究プロジェクトで設置した全ての設備・機器の撤去、床タイル全数新規張替、壁全面塗装、天井全面塗装（場合によっては張替）、鉄扉部塗装等を指します。

3. 募集について

(1) 募集期間

平成 25 年 11 月 11 日（月）～平成 26 年 1 月 10 日（金）まで

(2) 応募要件

本事業では、以下の要件を満たす研究プロジェクトを募集します。

- ・ 地球規模課題の解決に向けた環境・エネルギー等を対象とするグリーンイノベーションに関連した研究、医療・介護・健康等を対象とするライフイノベーションに関連した研究、リスクコミュニケーション、科学映像、メディア芸術等の多様な科学コミュニケーションを推進する研究等であること。
- ・ 研究アウトリーチ活動として、未来館科学コミュニケーター等との連携により、来館者への科学コミュニケーション活動の実施が見込まれること。
- ・ 競争的資金（※1）等の研究資金を得ていること。

(3) 応募申請者への要件

本募集への応募申請には、以下の要件を満たす必要があります。

- ・ 研究代表者の所属する所属長名による申請を原則とします。

(4) 入居期間

平成 26 年 4 月に入居し、競争的資金の研究プロジェクト終了期間までとなります。なお、継続にあたっては、再度審査となります。

(5) 応募申請書類

応募申請時には、以下の書類が必要となります。

- 様式 1 日本科学未来館研究施設申込書
- 様式 2 日本科学未来館研究施設の使用に係わる計画書
- 様式 3 研究代表者の経歴・業績・主要論文リスト（様式自由）

様式 2 日本科学未来館研究施設の使用に係わる計画書には、以下の小目を記載下さい（様式自由）。

- ① 研究プロジェクト名（研究テーマ、事業制度、研究期間、研究代表者、所属）

- ② 研究概要（300 字程度）
- ③ 使用予定期間
- ④ 研究体制、予定人数配置
- ⑤ 使用予定面積（希望室）
- ⑥ レイアウト計画、主要研究設備
- ⑦ 特記事項

ア. 現在までの研究アウトリーチ活動実績、今後未来館での実施が見込まれる来館者への科学コミュニケーション活動

イ. 未来館に研究室を構える意義、未来館の科学コミュニケーション活動との親和性

- ⑧ 予算規模（過去、現在の競争的資金獲得実績、研究プロジェクト予算）

(※1) 競争的資金について 参考 URL: <http://www8.cao.go.jp/cstp/compefund/>

4. 審査について

(1) 審査方法

応募申請内容等の審査は、機構の役職員から構成される日本科学未来館研究施設運営委員会において、応募者から提出された応募申請書類等の内容について評価（書類審査、ヒアリング審査）を行い、それらの結果をもとに、機構が決定します。入居決定に際し申し込まれた居室が重複した場合は、調整のうえ、入居室を決定させて頂く場合がございますのでご了承下さい。

(2) 選考の観点

以下の選考基準を中心に総合的に判断します。

- ① 未来館に研究室を構える意義、未来館の科学コミュニケーション活動との親和性

ア. 未来館の設立理念や科学コミュニケーション活動との親和性を有しており、研究が行われている現場そのものや研究に取り組む研究者自身、また研究内容が来館者から見えること。

イ. 未来館科学コミュニケーター等との連携により、来館者への科学コミュニケーション活動の実施が期待できること。

- ② 施設環境との合致

ア. レイアウト、研究設備が施設使用条件に適していること。

(3) 審査結果の通知等

審査結果の通知は、以下の通り行います。審査結果通知後、所属機関と未来館との間で契約を締結します。

- ① 書類審査の結果、ヒアリング審査の対象となった研究代表者に対し、ヒアリング審査の開催要項・日程等についてご連絡します。
- ② ヒアリング審査の結果、採択となった研究代表者に対し、書面にてその旨を通知するとともに、入居の手続きについてご連絡します。
- ③ 書類審査、ヒアリング審査で不採択となった研究代表者に対し、その都度、その旨通知します。
- ④ 採択された研究プロジェクトについては、研究プロジェクト名、研究概要等について、ホームページ等で公表します。

(4) 募集・審査スケジュール（予定）

募集公告	平成 25 年 11 月 11 日（月）
提出書類等に関する質問受付	平成 25 年 11 月 11 日（月）～ 平成 26 年 1 月 10 日（金）
応募書類提出締切日	平成 26 年 1 月 10 日（金）
ヒアリング審査	平成 26 年 1 月下旬～2 月上旬
結果通知	平成 26 年 2 月中旬

（施設を事前にご覧になる場合は、お問い合わせ下さい）

5. 採択後の研究代表者の責務等

(1) 研究の推進

研究代表者は、研究遂行上のマネジメント、安全管理、研究開発成果の公表等、研究開発の実施全般について責任をもつ必要があります。

(2) 研究アウトリーチ活動

研究を分かりやすく来館者に伝える研究アウトリーチ活動の実施に関しては、未来館科学コミュニケーター等と協力して行います。現在入居している研究プロジェクトは、週末に来館者に対して行う研究棟ツアー、夏休みのイベント等にご協力頂いています。また、必要に応じて、研究紹介やイベント出展等、未来館から協力をお願いすることがございます。

(3) 活動等の報告、発表

未来館で実施された科学コミュニケーション活動等については、毎年度及び研究プロジェクト終了後に、報告書、発表による報告を行って頂きます。（未来館は、報告後の成果を報告者の承諾を得た上で公表できるものとします。）

(4) 評価

研究プロジェクトの科学コミュニケーション活動のより一層の推進を目指し、ヒアリング審査により当該採択時の計画、研究内容に従って確実に科学コミュニケーション活動が遂行されたかについての評価を行います。評価結果に基づき、翌年度の科学コミュニケーション活動計画に反映して頂きます。

6. 応募に当たっての留意点

- ・ 応募にあたっては、生命倫理及び安全の確保、または実験動物の取扱いに関し、各府省が定める法令・省令・倫理指針等を遵守して下さい。実施機関の長等の承認・届出・確認等、及び保健所等への届出が必要な研究の有無を確認して下さい。また、これらに該当する研究については、開始時までには必ず所定の手続きを行い、提出書類の写しを未来館にご提出下さい。
- ・ 未来館は、東京都指定地球温暖化対策事業所に指定されています。入居にあたっては、CO₂排出量にご考慮するとともに、節電対策等にご協力下さい。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

日本科学未来館 事業部 対話プログラム開発課（担当：谷村）
〒135-0064 東京都江東区青海 2 丁目 3 番 6 号
電話 03-3570-9215